



報道機関 各位

記者発表資料

令和2年1月27日（月）

問い合わせ先：農業政策課

課長：川田 担当：坂口

電話：048-829-1378

内線：4843

## “さいたま市発祥さつまいも紅赤”を使った名菓販売会を開催します！

全国のさつまいも生産者・焼き芋専門店を一堂に集め、焼き芋の販売、品評を行うさつまいも専門の博覧会「さつまいも博」が令和2年2月21日（金）からさいたまスーパーアリーナで開催され、さいたま市発祥のさつまいも「紅赤」も出展いたします。それに先立ち、令和2年1月29日（水）に「まるまるひがしにほん（東日本連携センター）」にて紅赤を使った和菓子、パイ、ベーグルなどを販売します。

### 1 イベント概要

“さいたま市発祥さつまいも紅赤”を使った名菓販売会

日時：令和2年1月29日（水）11時～19時

場所：まるまるひがしにほん（東日本連携センター）

内容：紅赤を使った菓子、パイ、ベーグルなどの販売

・さつまいも博とは

日時：令和2年2月21日（金）～令和2年2月24日（月）

場所：さいたまスーパーアリーナ けやきひろば

内容：全国のさつまいも生産者が集い、生芋の品質を競う「日本さつまいもサミット」と、焼き芋専門店を来場者が審査し、日本一美味しい焼き芋を決める「全国焼き芋グランプリ」を同時開催。

さつまいも博に関する問い合わせは実行委員会事務局まで

主催・運営：さつまいも博実行委員会

電話：03-5927-8801

・紅赤とは

明治31年（1898年）、木崎村（現在のさいたま市浦和区）で、畳屋を営む兼業農家の主婦、山田いちさんが、「きれいな色で美味しいさつまいもがある」と発見したさつまいもです。その後、いちさんの甥である吉岡三喜蔵さんが種芋で栽培を始め、「紅赤」と名付け、全国に広めました。大正から昭和までは、埼玉県のみ栽培面積のうち、9割が紅赤だったと言われていたのですが、その後紅赤の栽培は減少し、「幻のさつまいも」と呼ばれるようになりました。

